

TSK 「社会福祉法人つどいの家」

後援会だより ~第103号~

げっげろコンサート

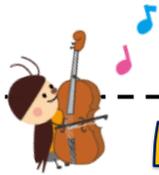


なりきりコンテスト



令和5年新事業活動
報告を、次のページに
掲載しております。
ぜひご覧ください!!





令和5年度 新事業活動報告

げっげろとクリスマスを楽しもう ～音楽で笑顔に～

去る12月16日にゲッゲロゾリステンをアプリに迎えてコンサートを開催しました。準備等に関わった実行委員から頂いた感想をご紹介します。

★バイオリン、ビオラ、チェロ、コントラバス…。見ているだけで美しく奏でる音は心地よく、聴き覚えのある曲も多くとても楽しい時間を過ごしました。地域の方々との交流もあり、和やかな会になりました。

(保護者)

★「山田地域の皆さまと音楽を通じて楽しい時間を共に過ごしたい」という想いを抱きながら、開催する事業所の職員として関わりました。これまで、このような機会がなかなか持てない時期が長く続きましたが、当日ご参加いただいた皆さんの表情からトンネルの出口が見えてきたように感じる時間となりました。これからも後援会の活動を通じて、お互いが出会いより良く理解し合えるような場が築けるようにしていきたいです。

(職員)

★参加者は、地域の方、児童デイを利用されている方と職員、他の事業所の利用者、そしてアプリの利用者と職員で延べ50名を超えましたが、皆さんが音楽で笑顔になった企画でした。しかも、障害を抱えた方々が地域の皆さんと気兼ねなく交流した時間は会場であるアプリを心温まるものにしていただきました。ゲッゲロゾリステンの皆様に心より感謝申し上げます。素敵な時間をありがとうございました。

(保護者)

一人では出来ないことも複数でやればできること、しかも保護者と職員がタッグを組めば両者が補完し合い、幅の広い取り組みも可能なこと、その結果参加者の輪が和になり笑顔につながることを実感したコンサートでした。

(記:げっげろコンサート実行委員長 門真咲枝)

第2回 なりきりコンテスト



今年度のなりきりコンテストは、12月4日アプリで、12月11日はコペル、仙台つどいの家、八木山つどいの家の3事業所合同で、2月15日に八木山つどいの家で行いました。利用者さんがドレスやアクセサリーを選ぶ時の楽しそうな様子、お化粧品やヘアメイクをしてもらっている時の神妙な様子、それを嬉しそうに眺めている他の利用者さんを見ていると企画した側も幸せな気分になります。出来上がった写真を見て、額に入れて飾ると一段とグレードアップして、それを眺めている利用者さんも普段とまったく違う表情をみせてくれます。(いつもの自分と違う自分に満足してもらえたでしょうか。)

昨年の様子を写真集で見た人が「楽しそう!」「いい企画だね!」と喜んでくださり、ドレスやアクセサリー、バックや小物、楽器などをこれ使えるかしらとご寄付してくれました。後援会からも事業実施のための助成金をいただき、新しいドレスも買い足しました。今年は、ロコミで探して見つけたカメラマン阿部写真館の高橋さん、Aco Hair&makeの近藤さん、昨年度に続きご協力いただいた美ようしつ紫さん、ヘアサロンKeepの後藤さんのご協力を得ることができました。障がい者と接するのは初めてという人もいましたが、どのような企画かという説明から始まり、どうしたらいいのか試行錯誤を重ねて無事終えることができました。ご協力をいただいた方から「この企画に参加させていただきありがとうございます」と言われて、ちょっと嬉しかったです。

(記:なりきりコンテスト実行委員長 高橋和)

～ 令和6年度新事業の活動について ～

運営会員の方から応募いただいた企画案について新事業選考委員会にて検討し、令和6年度は「ダンス!リズム!ダンス!」という活動が行なわれることになりました。講師を招いて、利用者の皆さんと市民の皆さん、後援会員の皆さんとで、年間10回ほどダンスを楽しみます。

連載 きいて きいて 第5回
～社会とのかかわりの中で～

「二人との出会い」

後援会だよりの「きいて きいて」の原稿依頼がきて、内容は「よき理解者との出会い」「理解を得られたことで救われたと感じた出来事」についてと話しがあり、思い当たる方が二人おりました。

我が家の娘は現在26歳で、肢体不自由、知的障がいの他に、視覚と聴覚にも障がいがあります。視覚と聴覚に障がいある人を盲ろうと言うのですが、先天性の盲ろう児とどのように関わって育てていけば良いのか悩んでいた頃に、その二人とは出会いました。

目が見えなく、耳が聞こえないので情報が入り難い。皆のように見よう見まねが出来ないからこそ、丁寧にじっくり関わらなくてはならない。コミュニケーションの方法も難しい。分かっているつもりでもなかなかそれが出来ない。そんな私たち親子をずっと寄り添って支えてくれています。

小さい頃から娘に関わる方々との共通理解が出来る場としてケース会議を開いてくれて、家での様子、学校や施設での様子、それぞれ疑問に思うこと、困っていることなど意見を出し合って話し合う場を作ってくれたので、今でも何かあったら相談できる場があります。

娘が24歳の時にICU(集中治療室)で「慢性呼吸不全の急性増悪」と診断され、今後の治療について決めなければならない時にも、お二人は忙しい中時間を作って家族と共に今後のことを考えてくれました。

たぶんこれからもずっと、このお二人にはお世話になると思いますが、お世話になるだけではなく、私たちが出来ることをお返ししていきたいと思っています。

そして、26年を思い返してみると私たち家族だけでは絶対に出来なかったであろうことを、お二人だけでなく沢山の出会いと、人との関わりの中で支えられて生きているのだとつくづく感じております。

(仙台つどいの家 利用者家族 永坂恵子)

令和6年度 社会福祉法人つどいの家 後援会総会開催のお知らせ

今年度も後援会の活動にご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございました。
下記の日程で令和6年度後援会総会を開催いたします

日時： 令和6年 4月23日(火) 10:30-12:00
場所： 太白区中央市民センター 2階 大会議室 (仙台市太白区长町5丁目3-2)
議題： 令和5年度事業報告、決算報告、監査報告
令和6年度事業計画・予算(案)・役員(案) 等

❀つどいの家後援会会員募集❀

～ 後援会の目的 ～

しょうがい者の福祉や社会福祉法人つどいの家の基本理念に対する社会の関心や理解を広げ、法人の運営する事業所及び事業を支援すること

つどいの家では施設整備をはじめとするサービスの充実を図るため、より一層の資金を必要としています。つどいの家を支える後援会の活動にご賛同ご協力をお願いいたします。

■入会の申し込み: 「つどいの家・アプリ」までお電話でお申し込みください (022-743-1882)

■年会費

- ・運営会員 3,000円 *議決権あり
- ・賛助会員(個人) 3,000円以上 *議決権なし
- ・賛助会員(団体) 10,000円以上 *議決権なし
- ・協力会員(募金箱設置やポスティング等の協力)

編集者: 「社会福祉法人つどいの家」後援会 会長 針持 哲郎
〒984-0838 仙台市若林区上飯田1丁目17-58 (つどいの家・コペル)
TEL 022-781-1571 FAX 022-781-1573

発行者: 東北障害者団体定期刊行物協会

〒980-0874 仙台市青葉区角五郎1丁目-12-6 頒価/100円(後援会の会費を充てています)